

四季  
だより

# ごんただ

夏号

2019  
VOL. 15

## Contents [目次]

KG関東地区	2P
リハビリテーション懇親会	
五反田リハビリテーション病院	2P
医療連携の会	
喜多村副院長講演会	3P
東京品川病院	3P
猪原実先生特別講演会	
院内感染研修	3P
看護部だより	4P
リハビリテーション科だより	4P
看護補助者慰労会	5P
行事食のご紹介	5P
五月晴れコンサート開催	6P
装具作製現場の見学	6P
スタッフおすすめとっておきのお店	7P
私の故郷	7P
医療連携室だより	8P
アクセス	8P





## KG関東地区 リハビリテーション 懇親会

令和元年6月26日(水)、セルリアンタワー東急ホテルにてKG関東地区リハビリテーション懇親会が開催されました。

平成31年4月1日に、多くのリハビリスタッフが入職をしましたが、懇親会を通して、グループ病院の様々な方々と交流をすることができ、有意義な時間を過ごすことが出来ました。これからは、良き仲間でもあり、良きライバルである同期のリハビリスタッフ皆でKGを今以上に盛り上げ、より良い病院となるよう貢献していきます。1人でも多くの患者様の力となれるような存在となるため、努力をしていきたいと思えます。

懇親会を通してやる気に満ち溢れている私たちのこれからの成長を楽しみにしててください。

リハビリテーション科 井上 大海



## 喜多村 孝幸副院長 講演会

令和元年7月17日(水)

当院副院長 喜多村医師による講演会を開催いたしました。テーマは「水頭症の治療とリハビリテーション」でした。講演には医局・看護部・リハビリ科を含め、様々な職種 of 職員も参加し、有意義な時間を過ごすことが出来ました。講演を通して学んだ水頭症についての知識を、今後の業務に活かしていきたいと思えました。

総務課 緒方 隆也



## 東京品川病院 猪原 実先生による 特別講演会

令和元年7月8日(月)

東京品川病院 循環器内科 副部長 猪原 実先生による特別講演会を開催いたしました。テーマは「カテーテルアブレーションについて」でした。カテーテルアブレーションという難しいテーマでしたが画像等を用いた資料で分かりやすくご教示いただきました。講演後は質問も飛び交い、貴重かつ有意義な時間となりました。

総務課 小林 透



## 五反田リハビリテーション病院 医療連携の会

令和元年6月20日(木)、当院主催で医療連携の会を開催いたしました。ご参加いただいた医療機関の皆様、誠にありがとうございました。日頃からお世話になっている医療機関の皆様へ、当院の実績や取り組みについてお伝えさせていただき、院内の見学やリハビリテーション介入で使用している機器の体験をしていただきました。

その後、リハビリテーション室で懇親会も行いました。お世話になっている方々にご挨拶ができ、当院の事を今まで以上に知ってもらう機会にもなり、職員一同とても充実した時間を過ごすことができました。



今後も、このような交流の機会を設けさせていただき、お世話になっている医療機関の皆様との交流を深め、連携の更なる発展に繋げて参りたいと存じます。

リハビリテーション科 村谷 翔一



## 院内感染研修

令和元年5月21日(火)~23日(木)の3日間で院内感染研修を行いました。テーマは、「感染経路別感染対策」です。院内感染対策は、「医療関連感染症対策」といわれるようになり、在宅医療、地域医療において必要な考え方です。

2015年5月の世界保健総会では、薬剤耐性(AMR)に関するグローバル・アクション・プランが採択され、加盟各国は2年以内に薬剤耐性に関する国家行動計画を策定することを求められました。これは、抗菌薬の不適切な使用を背景として、薬剤耐性菌が世界的に増加する一方、新たな抗菌薬の開発は減少傾向にあり、国際社会でも大きな課題となっています。2018年から麻疹、風疹の流行もあり、海外からの国内への持込による感染症対策も課題となっています。

このことから、病原体を伝播させない取り組みがより強化され、病院全体で、社会全体で取り組む必要性があります。当院でも、「全職員で取り組む感染対策」をもとに活動しています。病原体はさまざまな部位から排出しており、病態も複雑です。病院という集団生活の場では、しばしば手や環境面を介して細菌、ウイルスが伝播していくといわれます。手指衛生は基本的な感染症予防対策であり、これまでの院内での取り組みにより手指消毒薬の使用量は2.4倍になり、現在も使用量が増加しています。また、手指衛生の5つのタイミングでの手指衛生の実施率も上昇しています。

研修を通して、アウトブレイク予防のために、感染経路別感染対策の知識をもってリハビリテーション医療を提供するための良い学習機会となったと考えています。

看護部 藤岡 乙美





# 看護部だより



## ..... 星に願いを .....

令和元年7月6日(土)今年も病棟にて七夕会を開催しました。色とりどりの短冊を準備し、患者様に願いごとを書いていただきました。「世界平和」「1日でも早く退院できますように」「家族が幸せでありますように」といったお願いから、「理想の人と結婚できますように」といったスタッフからの心からの願い事も一緒に飾られました。

病棟の笹の葉には、今年もたくさんの皆さまの想いが飾られています。7月7日七夕の夜は、織姫と彦星が待ちに待った再会という願いを叶えます。二人のように、患者様の願いが叶うように、私達も一緒に頑張っていこうと思います！

看護部 北堀 真奈美



# リハビリテーション科だより



## FIMについて

リハビリテーションをお受け頂くにあたり、在宅復帰を目標とする方が大半を占めています。では在宅復帰を達成するためにはどのようなことをすればよいのでしょうか。日常生活を送る上で、まず必要になってくるのが、移動手段の獲得、トイレ動作の獲得が挙げられます。その他にも入浴や食事といった様々な項目が必要になり、それらを点数化出来るFIM(機能的自立度評価法)というものが存在します。運動項目が13項目、認知項目が5項目、それぞれ7点満点の合計126点で評価、採点されます。在宅復帰には運動項目91点中40点がおよその目安になると報告されています。回復期リハビリテーションに関してはおよそFIMに則った訓練が行われます。しかし、それだけ行っているだけでは機械的な訓練となりやすく、患者様それぞれの希望や生活環境を考慮した上でのプログラムが大切になります。訓練時は勿論、入院時や毎月の面談等を利用してスタッフと情報を共有することで、在宅復帰に向けた効果的なリハビリテーションが行え、それぞれの目標を達成することが出来ると考えています。ご質問やご要望があればいつでもスタッフに相談して頂ければと思います。



リハビリテーション科 上野 義史



# 看護補助者 慰労会

令和元年6月11日(火)、日頃から患者様に一番近い位置で頑張っている看護補助者や清掃の職員に対する感謝の気持ちを込めて当グループの大事なイベントである看護補助者慰労会を開催しました。

天候等の事情により屋上でのバーベキューはできなかったのですが、病院側より手作りの料理を提供して、院長より参加者に対して慰労・激励の言葉が述べられました。

皆笑顔で楽しい時間を過ごすことができました。本日参加された方々の活躍なくして病院の運営は成り立ちません。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

総務課 森 良太



# 行事食のご紹介

栄養科 栗原 愛羅

## 母の日昼食

5月12日は母の日。今年は洋食としました。クリームブリュレは、調理師がひとつひとつ砂糖を炙って仕上げました。甘いものが苦手な患者様も、キャラメルほろ苦さで食べやすく好評でした。いつも温かいお言葉を頂く患者様へ、日頃の感謝の気持ちです。

母の日  
献立

- 海老ピラフ
- 鶏肉のトマト煮込み
- 海藻サラダ
- クレームブリュレ
- カーネーションカード



## 父の日昼食

6月16日は父の日。じっくり仕上げたハッシュドビーフをご用意しました。塩分は控えながらコクを出すように手間をかけました。オニオングラタンスープは、趣向を凝らし患者様から好評でした。

父の日  
献立

- ご飯
- ハッシュドビーフ
- かに風味サラダ
- オニオングラタンスープ
- 赤ワインゼリー
- 父の日カード





# 五月晴れ コンサート開催



令和元年5月8日(水)

快晴の屋下がり、ボランティアによる「五月晴れコンサート」を開催しました。澄んだ歌声と美しいピアノの音色で病棟に初夏の風がそよぎました。

〈海〉、〈椰子の実〉〈ふるさと〉など患者さま皆様が合唱した時には昔を思い出して涙していた方もおられ、職員も思わずもらい泣き。

「楽しかったよ」「今度はいつやる？」などの声に、今後も患者様のために楽しい時間が過ごせるよう計画していきます!

患者サービス向上委員会



# スタッフおすすめ とっておきの店

私たちのお薦めの店は、当院より2分の距離にある隠れ家的なレストラン「オントレ・ドウ シャトゥ」です。ご主人は和食専門の老舗で腕を磨いた凄技の優しい方。大正時代を思わせるシックな雰囲気の中でこだわりの品を洋食風に提供してくれます。

驚くのはそのクオリティと量。特に温野菜がお皿いっぱい盛り付けてあるのには圧巻。美しいし、一つひとつの素材の美味しさが楽しめます。その後、適切なタイミングでどんと料理が運ばれていきます。

入り口は少し奥まったところにある「上りしかないエスカレーター」で2階に上がり秘密の部屋の入り口のようなドアを引くと、そこは別世界。

食事を兼ねたmeeting、記念の日の会食などに最適です。後悔させないお店です。

## お帰りの際の見どころ

ご主人が上りエスカレーターを一旦止め、鍵を操作して“下りエスカレーターに変更”して下さいます(笑)

医療連携室 宮田 歩未  
看護部 高橋 季子



# 装具作製現場の見学

義肢・装具の製作会社である株式会社日本義肢製作所の東京営業所へ見学に行かせて頂きました。営業所は墨田区立川にあり、スカイツリーがすぐ近くに見える場所に位置しています。私たちはまず浅田裕二社長より、製作所の歴史について説明を受けました。その後、製造技術部 中山久継部長から義肢・装具の製作過程を教えてくださいました。私も実際に義肢・装具の製作過程の一部を体験させて頂きました。

が、とても難しく改めて製造部の方々の技術の高さを実感しました。

その後、懇親会では色々な意見交換を行う事が出来ました。今後も今まで以上にチームとして連携をとり、患者様へ最も適した装具選定を行い、円滑に提供出来るよう努めていきたいと思ひます。

リハビリテーション科 松元 まり子



# 私の故郷

My hometown

私は、今年の4月から東京へ就職して、患者様や初対面の方によく聞かれることがあります。それは苗字です。東京では、珍しい苗字のためよく読み方や出身地を聞かれることが多いです。そんな私の出身地は南の島沖縄です。私は沖縄本島出身で那覇からも近い場所ですが、やはり東京とは違い見渡す限りの田んぼがあったり、徒歩5分で海へ辿りついたりします。海の砂浜はさんご礁や貝殻のかけらにより真っ白で、海水も透明感がありエメラルドグリーンです。そんな沖縄も年中晴天のイメージが強いですが、実は曇りの割合の方が多いのです。沖縄旅行へいくのなら、夏休

み期間はもちろんですが、11月まではとても暑いので8月～11月上旬か、ゴールデンウィーク後をおススメします。ゴールデンウィーク後で航空代も安くなり梅雨前なので晴れていることが多いです。この期間にいくと良い沖縄旅行が楽しめるかと思ひます。

リハビリテーション科 眞屋 せせら



## ニライカナイ橋







# 医療連携室だより

令和元年8月23日(金)に医療連携室・ソーシャルワーカーが主催となり、看護師・リハビリスタッフに「介護保険について」の勉強会を開催いたしました。医療従事者として一度は学んできた介護保険ですが、実際に働いているなかで「これって何だろう?」「分からないけど聞いてもいいのかな?」と思っているスタッフと本音で話し、患者様が安心できる退院支援をチームで行いたいという強い気持ちがあり、開催に至りました。

前職がケアマネージャー(介護支援専門員)として働いていた知識豊富なソーシャルワーカーからの分かりやすい勉強会は質問も多く、とても好評であり、引き続きこのような機会を設けさせていただこうと考えております。

医療連携室 加藤 百花



## 医療連携室

医療連携室の受付時間 9:00~16:30 (月~土曜日)

入院相談	加藤・澤田・町田
病棟担当	小又・石塚・三浦・黒木・松澤・関口・志田・宮田

☎ 03-3779-8826 (直通)

四季だより  
ごんだ  
夏号  
2019 VOL. 15  
令和元年8月

一般社団法人巨樹の会  
五反田リハビリテーション病院  
広報委員会  
〒141-0031  
東京都品川区西五反田8丁目8-20  
TEL 03-3779-8820  
FAX 03-3779-8823



- 五反田駅 (JR山手線、都営地下鉄浅草線、東急池上線) 徒歩8分
- 大崎駅 (JR山手線、埼京線、りんかい線) 徒歩12分
- 大崎広小路駅 (東急池上線) 徒歩3分

**P** 大崎広小路駅交差点角にコインパーキングがあります (88台収容)